

1. 目的と活動

国際医療協力局は開発途上国からの保健医療分野の技術協力の要請に対し、専門家の派遣、研修員の受入れをしている。研修課においては、開発途上国からの研修員の受入れを主な業務として活動している。

近年、建物機械などの物的支援から相手国人材育成に関連した質的支援への大きな転換が進行しつつある中で、開発途上国の自立を促すための研修員受入れ業務は、ますます人を介した技術移転として、その重要性が高まってきており、研修受入数も年々増加している。

日本での研修計画作成及び実施に当たっては、多様化する研修分野に対応すべく国際保健医療分野の専門家である派遣協力課と共に研修内容及びスケジュールを検討し、研修員のニーズと合致するよう努めている。研修受入れ先の関係医療機関等の他に、特に国際医療協力ネットワーク施設において施設の特性を活かして研修員の受入れを担う体制の構築を図り、研修目標の達成に向けて連携を密にして努力している。

研修受入れ業務の目的は人材育成の協力にあるが、日本との友好関係を作ることにもある。実際に迎える海外研修員は、各々自然、文化、宗教及び社会背景を日本と大きく異にしている。異国の土地での研修に学習意欲と不安を持ち合わせて来日する研修員に、よりよい環境で研修に集中できるよう適切な研修環境の充実を目指し、より一層の研修効果を期待している。

また、開発途上国からの研修員受入れだけでなく、途上国へ派遣される専門家人材の養成研修を行っており、その対象を独立行政法人国立病院機構病院、国立高度専門医療センター等の職員だけではなく、民間の医療従事者まで拡大している。その研修は「国際医療協力人材養成研修」と「国際感染症等専門家養成研修」である。前者は、国際医療協力に必要な基礎知識及び技術を習得した派遣専門家人材の養成を目的し、後者は、国際感染症について臨床・公衆衛生・政策の視点から疾病対策を包括的に行うことが出来る専門家を養成することを目的としている。また、両研修とほぼ同時期に、当センターレジデントを対象に後期臨床研修の選択研修「国際医療協力」（3ヶ月）として、国際保健医療専門家の人材育成を目的とした「国際保健医療協力レジデント研修」を国際医療協力局の派遣協力課と研修課で受け入れをしている。



沖縄フィールド実習風景



タイフィールド実習風景

なお、上記研修受入れ以外に、大学の医学生を対象とした病院実習のうち、国際医療協力局実習を希望する学生に対し、施設見学、国際医療協力活動説明等を行っている。

2. 活動概要

(1)集団研修

①感染管理指導者養成研修（外国人を対象）

第4回目となる本研修は、開発途上国において、最新の医学的根拠に基づいた感染管理を実施し、当該分野のシステム構築や人材養成を行い、さらに感染管理の国家政策決定に対し専門家の立場からアドバイスのできる人材を養成することを目的としている。

平成15年から実施しており、本年度の研修参加者は9名で、総計31名となった。

②母子保健（仏語圏アフリカ）研修（外国人を対象）

第4回目となる本研修は、2002年にアフリカのコートジボアール政府から地域保健研修の要望があり、仏語圏対象特設研修として平成15年度から開始した研修で、我が国のアフリカに対する支援の一環として重点課題の一つである母子保健の水準を高めることを目的とした研修である。

平成15年から実施しており、研修対象国はコートジボアール、マダガスカル、セネガルの3ヶ国で、本年度の研修参加者は9名で、総計36名となった。

③国際医療協力人材養成研修（日本人を対象）

第9回を数える本研修は、独立行政法人国立病院機構、国立高度専門医療センター及び一般の医師、看護師等を対象に、国際医療協力に必要な基礎知識及び技術を修得させ途上国派遣専門家の人材養成を目的としている。

平成10年から実施しており、本年度の研修参加者は7名で、総計82名となっている。

④国際感染症等専門家養成研修（日本人を対象）

第9回を数える本研修は、独立行政法人国立病院機構、国立高度専門医療センター及び一般の医師、看護師等を対象に、国際的対応が必要とされる感染症の勃発、自然災害、人的災害等に際し、迅速かつ的確に対応できる診断、治療、予防等の専門知識・技術を修得させ、医療面での支援に対応できる危機管理能力を有する人材を養成することを目的としている。

平成10年から実施しており、本年度の研修参加者は6名で、総計47名となっている。

⑤国際保健医療協力レジデント研修

第2回を数える本研修は、4名のレジデントに対し、事前の国内研修5週間、海外研修6週間、研修総括（報告書の作成、研修報告会）1週間の計12週間の国際保健医療協力レジデント研修を行った。（当該研修は上記③、④と合同で開催されるが、区分は一般個別研修に計上される）